

経営比較分析表（令和元年度決算）

秋田県大館市 扇田病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
71,558	9,305	第2種該当	10:1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
62	42	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	104
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
62	42	104

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会を実現するため、扇田病院は次の役割を担います。

- ①急性期医療と慢性期医療を担う、地域に根差した医療の提供
- ②人間ドック、企業健診などの健診事業の展開
- ③訪問診療や訪問看護などの在宅医療の充実

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率や②医業収支比率は、新型コロナウイルスの影響による患者数の減少で大きく低下しました。

④病床利用率は、平均値より高い水準を維持しているものの、今後コロナの影響による減少が懸念されます。

⑤入院及び⑥外来患者1人1日当たり収益は、入院外来ともに平均値より低く、収益に大きな影響を与えています。

⑦職員給与費対医業収益比率及び⑧材料費対医業収益比率は、職員給与費の比率が平均値より高く、職員配置の適正について検討が必要です。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、平均値を上回る状態が続いています。病院建物は使用開始から30年以上経過しており、施設の老朽化が著しく、特に建物内部の給排水管は経年劣化が進み、早急な対策及び更新が必要です。また、②機械備品減価償却率でも、平均値よりも高い状態が続いています。優先度の高い機器から毎年度更新を行っていますが、機器全体の老朽化が進んでいます。

③1床当たり有形固定資産では、優先度の高い機器を整備検討委員会において選定することで、最優先機器の検討による支出抑制を行い、近年は平均値を大きく下回っています。

全体総括

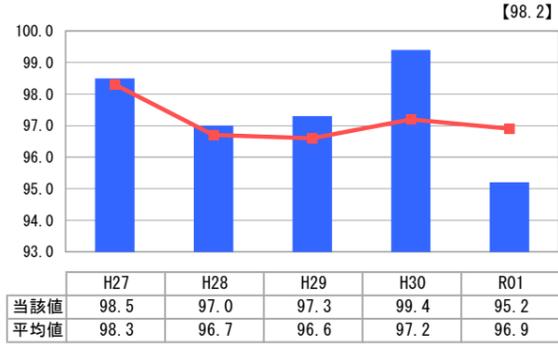
人口減少や慢性的な医師不足に伴う患者数の減少で、近年収益が減収しています。また、令和元年度終盤にはコロナの影響も見え始め、今後厳しい状況が続くと思われる。

経営改善のため、次のとおり取り組みます。収入では、地域における在宅医療充実の一環として、在宅療養支援病棟の施設基準を取得し、24時間在宅患者を支援する体制を整えています。費用では、職員の適正な配置による人件費削減や、後発医薬品への転換での費用削減に努めます。

経営改革プランに基づき、医師確保や経費節減に一層努めます。地域の需要に応える医療を提供する病院運営を引き続き行っています。

1. 経営の健全性・効率性

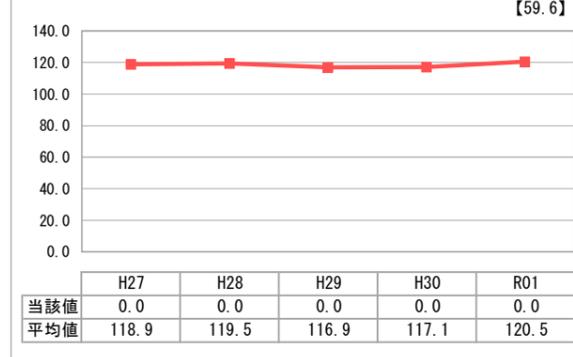
①経常収支比率（%）



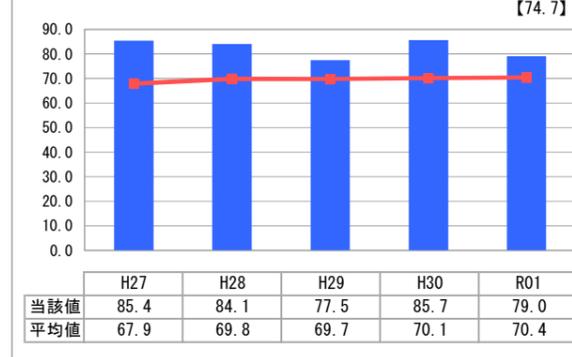
②医業収支比率（%）



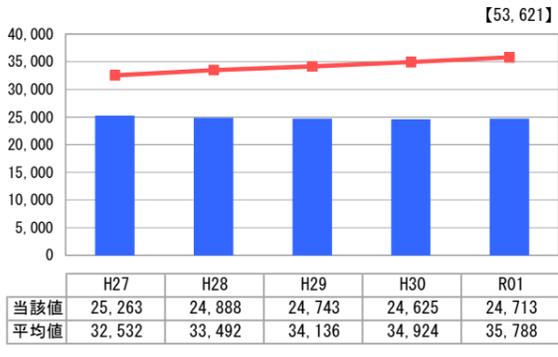
③累積欠損金比率（%）



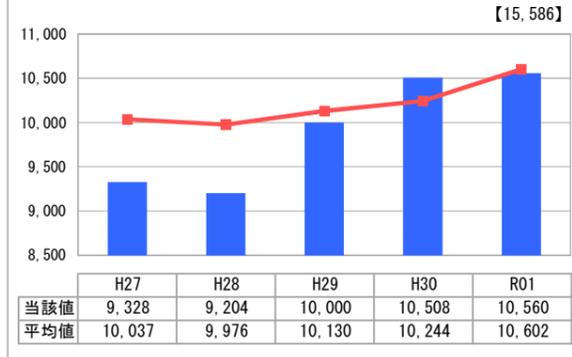
④病床利用率（%）



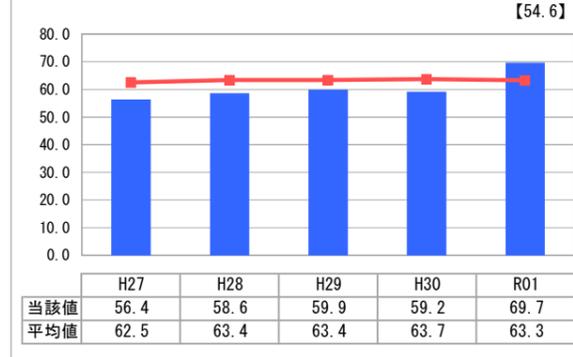
⑤入院患者1人1日当たり収益（円）



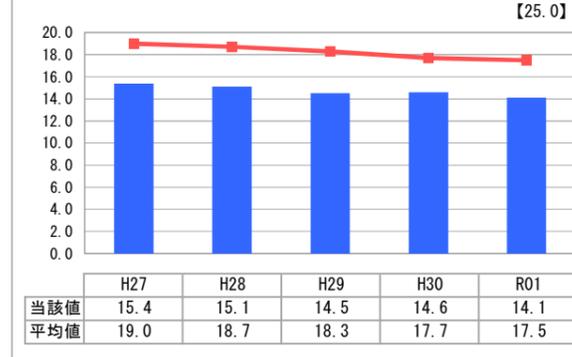
⑥外来患者1人1日当たり収益（円）



⑦職員給与費対医業収益比率（%）

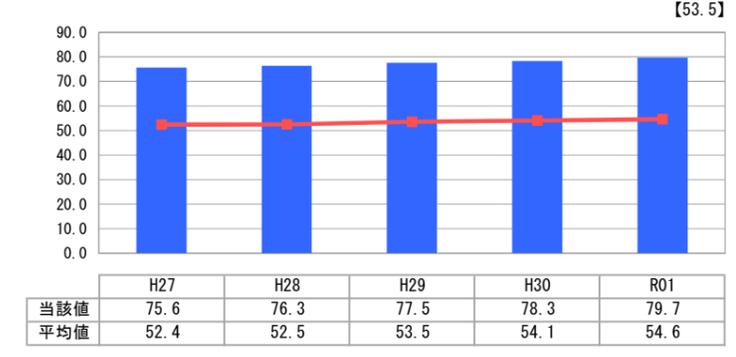


⑧材料費対医業収益比率（%）

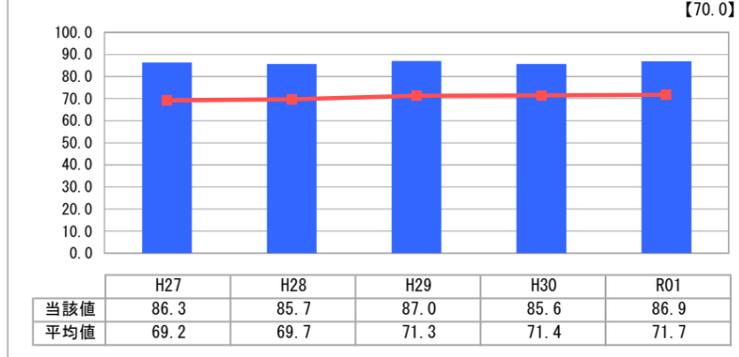


2. 老朽化の状況

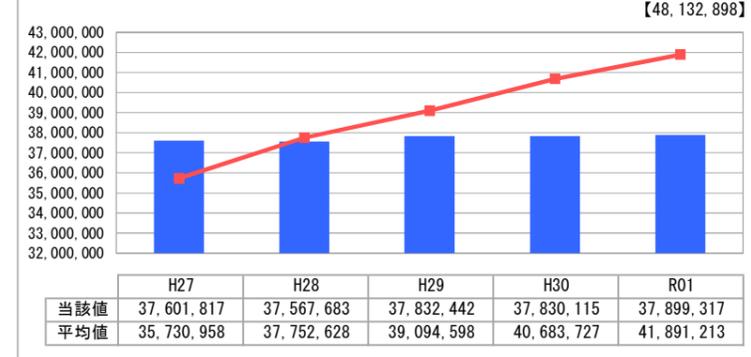
①有形固定資産減価償却率（%）



②器械備品減価償却率（%）



③1床当たり有形固定資産（円）



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。